



コレクチム[®]
軟膏を
お使いになる方へ

第3版

監修

NTT東日本関東病院 皮膚科 部長

五十嵐 敦之 先生



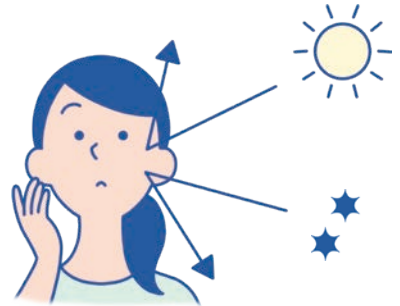
鳥居薬品株式会社

アトピー性皮膚炎の皮膚

皮膚には、私たちの体を紫外線や化学物質、細菌などの外界の環境から守る「**バリア機能**」の役割があります。

アトピー性皮膚炎は、この皮膚の「**バリア機能**」が低下し、ハウスダスト(ダニ、カビ、ほこりなど)や化学物質(化粧品、金属、消毒薬など)、アレルギーを起こしやすいアレルゲンなどが侵入して「**皮膚の炎症**」を起こします。

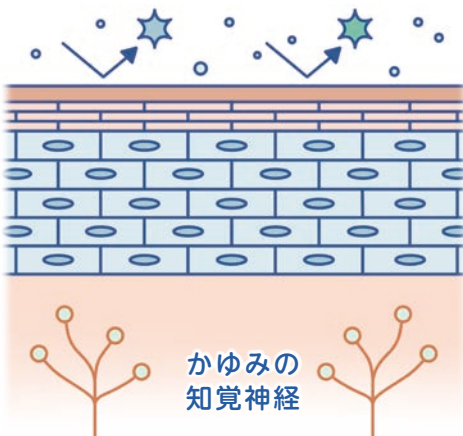
また、「**かゆみ**」を感じる神経(知覚神経)が皮膚の表面のほうへ伸びてくるため、「かゆみ」を感じやすくなります。



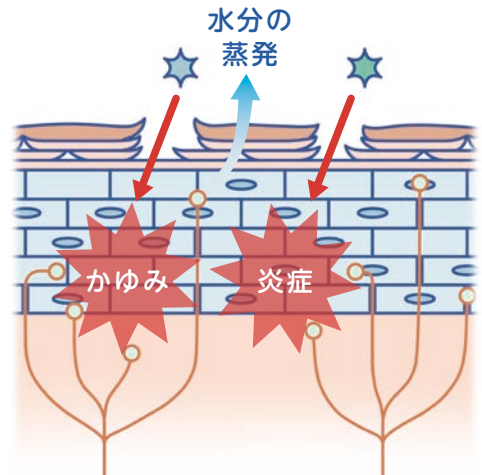
● 健康な人の皮膚と、アトピー性皮膚炎の皮膚との違い

健康な皮膚

化学物質や細菌、アレルゲン



アトピー性皮膚炎の皮膚

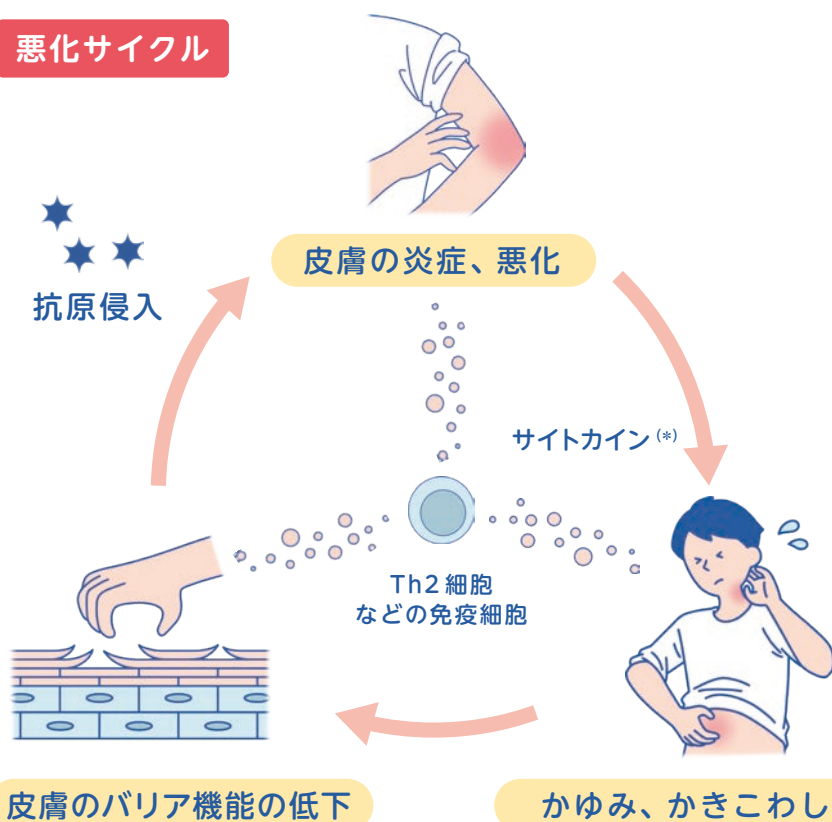


アトピー性皮膚炎の症状

アトピー性皮膚炎は、「皮膚バリア機能の低下」と「皮膚の炎症」と「かゆみ」が影響し合いながら、良くなったり悪くなったりをくり返す疾患です。

また、皮膚をかきむしることでさらに皮膚のバリア機能が低下し、「皮膚の炎症」が悪くなるという悪化サイクルを起こします。

悪化サイクル



(*) アトピー性皮膚炎では、体内のTh2細胞などの免疫細胞が増え、免疫細胞が作り出すサイトカインと呼ばれる物質 (IL-4、IL-13、IL-31など) の過剰産生が、アトピー性皮膚炎の炎症やかゆみを引き起こしています。

アトピー性皮膚炎の治療

アトピー性皮膚炎の治療は、「薬物療法」、「スキンケア」、「原因や、悪化させる因子への対策」の3点が基本になります。

1. 薬物療法

塗り薬や飲み薬などで皮膚の炎症やかゆみを抑える。

外用薬 保湿剤

ステロイド外用剤

- ウィーク
- ミディアム
- ストロング
- ベリーストロング
- ストロングゲスト

免疫抑制外用剤

外用ヤヌスキナーゼ (JAK) 阻害剤

内服薬 抗ヒスタミン薬

経口免疫抑制剤

経口ステロイド剤

注射薬 生物学的製剤



2. スキンケア

入浴やシャワーで汚れを落とし、皮膚の清潔を保ち、保湿してうるおいを保つ。



3. 原因や、悪化させる因子への対策

原因や悪化となる因子をみつけ、可能な限り取り除く。

悪化の因子：汗、ストレス、ハウスダスト(ダニ、カビ、ほこり)、化学物質(化粧品、金属、消毒薬)、紫外線、アレルゲンなど

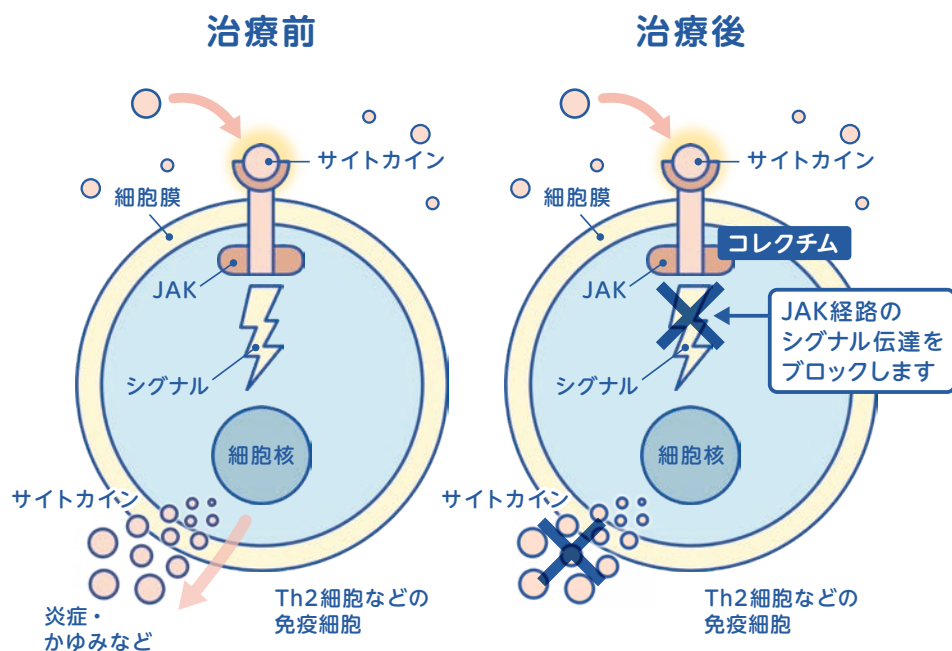
コレクチム軟膏とは

コレクチム軟膏は薬物療法の外用薬の1つで、外用ヤヌスキナーゼ（JAK）阻害剤と呼ばれる塗り薬です。

アトピー性皮膚炎の治療に使われているステロイド外用剤や免疫抑制外用剤とは異なる作用機序でアトピー性皮膚炎の症状を和らげる新しいお薬です。

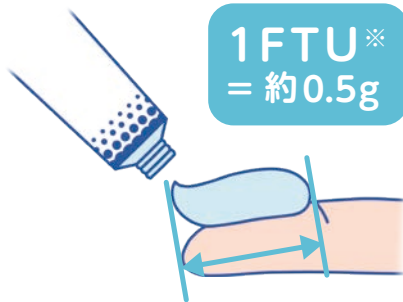
アトピー性皮膚炎の病態には、サイトカインと呼ばれる物質が関与しています。サイトカイン（IL-4、IL-13、IL-31など）が、免疫細胞や神経にある「受容体」という受け皿に付くと、JAKなどのシグナル経路が活性化され、炎症やかゆみを引き起こします。

コレクチム軟膏は、皮膚から浸透し、細胞内のJAK経路から伝達される炎症を引き起こすシグナルをブロックすることで、皮膚の炎症やかゆみを抑え、アトピー性皮膚炎を改善します。



コレクチム軟膏の塗り方

- 成人の場合、0.5%製剤を1日2回、患部に適量を塗ります。
- 小児の場合、0.25%製剤を1日2回、患部に適量を塗ります。症状に応じて0.5%製剤を1日2回、患部に適量を塗ることができます。0.5%製剤で症状が改善した場合は、0.25%製剤に切り替えることがあります。
- 1回に塗る量（適量）は5g（チューブ1本）までです。
- 1回に塗る量は体表面積の30%までを目安としてください（右図参考）。
- 製剤の選択や薬を塗る部位、範囲については医師・薬剤師の指示に従ってください。

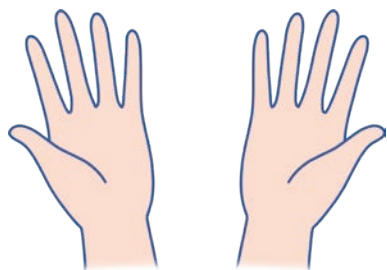


大人の人差し指の先端から第一関節まで出した量が約0.5gです。
この量を「1FTU*」といいます。

※ FTU : Finger tip unit

ティッシュが皮膚に付く、
または皮膚がテカる程度を
患部に塗ってください。





1FTUで、
大人の手のひら
2枚分くらいの面積に
塗ることができます。

患者さんの手のひら
1枚分の塗布量が、
おおむね体表面積の
1%への塗布量になります。



- 1 次のような箇所には使わないでください。
 - 粘膜（眼や口、鼻の中など）
 - 皮膚の傷やただれ、アトピー性皮膚炎以外の炎症や感染症のある部位
- 2 万一、眼に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。
- 3 お薬を塗ったところに赤または白の小さな吹き出物や、ニキビができることがあります。
気になる症状があらわれた場合には、
医師または薬剤師に相談してください。
- 4 4週間（約1カ月）塗り続けても症状が改善しない場合は、
医師に相談してください。

医師、薬剤師の指示に従って使ってください。

コレクチム軟膏を使用する際の注意

これまでに、この薬に含まれる成分で過敏症のあった方は、
お使いにならないでください。



妊婦または妊娠している可能性がある方は、
医師に相談してください。

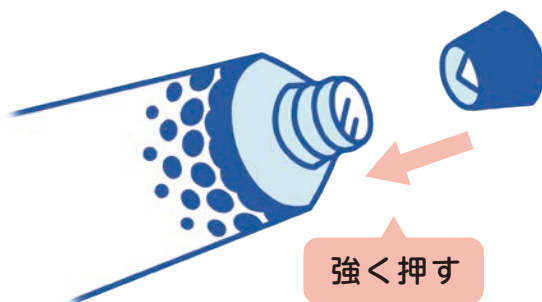
授乳している方は、
医師に相談してください。
また、授乳している方が使用する場合は、
乳首等の塗布部位を乳児が
舐めないように気を付けてください。



他の医療機関を受診する場合や、
薬局で他の薬を購入する場合は、
必ずこの薬を使用していることを、
医師または薬剤師に
伝えてください。

コレクチム軟膏を塗り忘れた場合

- 決して2回分を一度に塗らないでください。
- 塗り忘れに気が付いた時に「1回分」を塗ってください。
- ただし、次に塗る時間が近い場合は、あらかじめ決められていた次の時間に「1回分」を塗ってください。



チューブを開ける際、チューブのフタの裏の突起で強く押し込んでください。

押し方が弱いとチューブの口が十分に開かず、適量を出せないことがあります。

コレクチム軟膏の副作用について

次のような副作用が出る場合があります。

● 塗った部位

毛包炎
(赤い発疹など)

紅斑
(赤くなる)

ざ瘡
(ニキビ症状)

刺激感
(ヒリヒリ感など)

上記以外にも、カポジ水痘様発疹、単純ヘルペスなどの副作用が出る場合がありますので、気になる症状がある場合には、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法

- 直射日光を避けて、室温(1~30℃)で保存してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。

アトピー性皮膚炎の外用治療の意義

アトピー性皮膚炎は、
良くなったり悪くなったりをくり返す疾患です。

治療を続けてアトピー性皮膚炎の症状が良くなっても、
目に見えない炎症が皮膚の奥に残っていることがあります。

自己判断で中断せず、
医師の指示に従って一定期間塗り続けることが大切です。

自己判断で中断せずに
しっかりと
塗り続けましょう。
気になることがあったら、
相談してください。



- 本冊子の内容はWebサイトでもご欄になれます。

<https://www.corectim-patient.jp/> | 🔍



医療機関名